萬福寺の公式ホームページをご覧ください。
馬込萬福寺 検索 http://www.manpukuji.or.jp

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

秋彼岸会法要（あきひがんえほうよう）

平成26年9月23日(火・祝)

講話「終活セミナー」を拝聴

お彼岸の中日、9月23日午後1時から講話「終活セミナー」、午後2時から彼岸会法要が、本堂に多くの参詣者出席のもと営まれました。

終活セミナーでは、JA東京中央セレモニーセンター代表取締役社長・丹野浩成氏が冊子『エンディングノート』をもとに講演、「遺産の配分はもちろん、その理由、本当に家族に残したい心の遺産を事前にノートに書き残しておくことが肝要」とのお話がありました。

この日、法要に先立って本堂前では「芋煮会」が行われました。これは萬福寺護持会女性役員が中心となって、以前萬福寺に奉職し現在山形にお住まいのご僧侶の方から材料を送ってもらい、調理したものです。山形産のサトイモ、ステーキにもなりそうな塊りの米沢牛、お醤油も山形県産を使って調理された芋煮は、墓参に訪れた参詣者に振る舞われ、ご好評をいただきました。来年も企画する予定です。

芋煮会

鬼子母神祈願法要（きしぼじんきがんほうよう）

平成26年10月28日(火)

子供を守る誓い新たに

子供を巻き込んだ悲惨な事件・事故が続く昨今ですが、子供の健やかな成長、家内安全、子孫長久を願って鬼子母神祈願法要が10月28日に執り行われました。法要には当山の寺宝・鬼子母神尊像の御帰山（昭和の一時期行方不明。昭和62年に戻ってきた）に貢献された静岡県の岸本家の方と、この鬼子母神尊像は日蓮聖人が一泊のお礼として萬福寺に寄進されたものと言い伝えられているご縁で、池上本門寺厳定院様をお迎えしました。

法要後、安本利正ご住職様から「日蓮聖人の萬福寺御宿泊の事」について法話があり、参詣者全員に御札と鬼子母神尊像カードが授与されました。

人形・想い出品供養祭（くようさい）

平成26年10月5日(日)

地域行事として定着へ

魂のこもるといわれる人形やぬいぐるみ、処分に迷う故人の遺品などを6500体お預かりし、萬福寺・安本利正ご住職様の丁重なご法要のもとでお別れする「人形・想い出品供養祭」が10月5日、萬福寺・梶原殿ホールで行われました。

ご法要の前に行われた記念式典では、ご来賓の皆様から「供養祭が地域行事として定着してきました」とのご祝辞をいただきました。なお、ご供養料の一部は大田区社会福祉協議会に寄付されました。

閉式後は「チビ玉姉弟ショー」が行われ、愛らしい姉弟の歌・舞踊に一同大喝采となりました。

INFORMATION

仏事のご案内

ご家族皆様で参加しましょう

12.14 午前11時から
本尊阿弥陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳
※御本尊様の御開帳があります。

12.31 午後11時から法要
除夜の鐘つき

1.1-1.3 午前11時から
正月大般若会御祈祷諷経（だいはんにゃえ ふぎん）
※御本尊様の御開帳があります。

2.11 午後1時から3時
写経会

2.15 午前11時から
涅槃会法要（ねはんえ）

平成27年 年回表

一周忌	平成二十六年
三回忌	平成二十五年
七回忌	平成二十一年
十三回忌	平成十五年
十七回忌	平成十一年
二十三回忌	平成五年
二十七回忌	平成元年
三十三回忌	昭和五十八年
三十七回忌	昭和五十四年
四十三回忌	昭和四十八年
四十七回忌	昭和四十四年
五十回忌	昭和四十一年
百回忌	大正五年

御葬儀・法要の連絡は萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要のお問い合わせ・お申し込み
萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025
※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

編集後記

平泉から東に向かった萬福寺研修旅行の私たちを、青空と太平洋につながる静かな海が迎えてくれました。岩手県陸前高田も宮城県南三陸町も、美しい入り江の風景は昔のままでも、陸地側の海岸に沿った町並みはわずかな土台の痕跡ばかりで、人びとの暮らしを思わせるものは消え失せていました。

大震災と津波について、被災された方々は淡々とお話しくださいましたが、被害のさまを間近に見ながら聞く言葉の一つ一つに重いものが込められていたと思います。

震災からやがて4年目になりますが、被災した地域の復興作業はやっと始まったばかり。私たちにいったい何ができるのかを考えさせられた今回の研修旅行でした。あらためて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

発行／曹洞宗 萬福寺護持会 | 〒143-0025 東京都大田区南馬込1丁目49番1号 電話 03-3771-2025 FAX 03-3771-2140 | 編集責任者 城下 君子